

米国の輸入通関申告 - 最終荷受人の報告義務付け

米国国土安全保障省国境税関保護局（CBP）は、今後の輸入申告の際には、最終荷受人（ultimate consignee）の報告を原則義務付ける規則を発表し、10月1日から施行すると発表しました。

10月1日以降、本規則に従っていない場合、輸入貨物のリリースは拒否されます。加えて、違反した申告者には罰則が科されることになる可能性もあります。

CBP の下記ウェブサイトを参照下さい。

http://www.cbp.gov/xp/cgov/import/cargo_summary/ult_consignee.xml

1. これまでの最終荷受人の報告手続と問題の所在

これまで、米国の輸入通関申告では、種々の団体（Party）が輸入貨物の最終荷受人となることが許容されてきた。

（1）最終荷受人（Ultimate Consignee）の定義

- 輸入申告（entry）あるいは引取（release）の時点における最終荷受人とは、海外荷主（Overseas Shipper）が商品を販売した米国の団体（Party）。
- 輸入申告（entry）あるいは引取（release）の時点において、輸入商品の販売が成立していない場合、米国の最終荷受人は、海外荷主が商品を委託した（consigned）相手先としての米国の団体（Party）。
- 輸入申告（entry）あるいは引取（release）の時点において、輸入商品の販売が成立しておらず、また米国の団体に委託（Consigned）もされていない場合、最終荷受人は、商品が配達（delivered）されることになっている米国の倉庫・土地等の所有者（proprietor of premises）。

（2）これまでの手続

引取申告（entry release）について、最終荷受人の報告手続は、CBP ディレクティブ 3550-079A で規定されている。

- フォーマル・エントリー（通常の申告）：最終荷受人は適切なアイデンティフィケーション番号によって確認されるか、あるいは 最終荷受人の名前と住所を ABI（Automated Broker Interface：自動通関申告システム）を通じて申告することによって確認されなければならない。
- インフォーマル・エントリー（小額案件の申告）：最終荷受人は、最終荷受人の名前と住所を ABI（Automated Broker Interface：自動通関申告システム）によって申告することでも確認できる。しかし、他の選択的方法でも確認することができる。
- 上記いずれの申告（entry）についても、最終荷受人の履歴データが不正確なものとなり、輸入貨物に係る CBP のセキュリティ関連リスク管理を深刻に損なうものとなる。

納税申告（entry summary）については、最終荷受人の報告手続は、CBP ディレクティブ 3550-061（アドミニストレイティブ・メッセージ 92-0717 によって修正）で規定されており、最終荷受人は、IRS 雇用者証明番号（Internal Revenue Service Employer identification Number）、社会保障番号（Social Security Number）あるいは CBP が発行する番号で確認（identify）される。

* CBP が発行する番号は、通常米国の非居住者である企業・個人に振り出されており、したがって、めったに最終荷受人番号として使用されない。

(3) 問題の所在

最終荷受人の報告に関する上記の規則は、2001 年 9 月の同時多発テロ事件以前に策定されたものであり、輸入貨物に対する効果的なターゲティングを可能とするために、正確で事前に提出された最終荷受人データを必要とする現在の状況を反映していない。

2 . 新しい規則の概要

輸入申告 (entry) あるいは引取 (release) の時点における最終荷受人の確認 (identification) 及び、引取申告 (release entry) と納税申告 (entry summary) の最終荷受人手続の統一に係る弱点を正すことを目的とする。

(1) フォーマル・エントリー (通常の申告)

- 最終荷受人は、適切な最終荷受人確認番号 (appropriate Ultimate Consignee identification number) で特定されなければならない、最終荷受人の名前と住所を ABI を通じて報告することで特定することはできない。
- 最終荷受人が適切な最終荷受人確認番号 (IRS 雇用者証明番号、社会保障番号、あるいは CBP が発行する番号) を持っていない場合、通関申告を CBP が処理する時点までにいずれかの番号を取得しておかなければならない。
- 輸入申告 (entry) あるいは引取 (release) の時点で最終荷受人確認番号を取得していなければ、貨物の通関は拒否される。

(2) インフォーマル・エントリー (小額案件の申告)

- 少なくとも、最終荷受人は、最終荷受人の名前と住所によって確認されなければならない、ABI の利用、あるいはマニュアル方式を含む他の手段のいずれかの方法を通じて CBP に報告できる。

(ノート)

- 殆どの場合、住所は外国の住所ではなく、米国の住所になるであろう。最終荷受人について名前と住所が報告される場合には、通関においてペーパーレスは認められず、引取に際してドキュメント提出が必須となる。適切な最終荷受人確認番号のいずれかが申告者 (entry filer) によって報告されるならば、最終荷受人番号によって確認することもできる。
- 輸入申告 (entry) あるいは引取 (release) の時点で、最終荷受人確認番号あるいは名前と住所で最終荷受人が確認されなければ、貨物の通関は拒否される。

(3) 混載貨物の通関申告

混載貨物の中の価額 2000 ドル以上の部分

- それぞれ、最終荷受人は適切な最終荷受人確認番号によって確認されなければならない。最終荷受人が適切な最終荷受人確認番号を持っていない場合、通関申告を CBP が処理する時点までにいずれかの番号を取得しておかなければならない。輸入申告 (entry) あるいは引取 (release) の時点で最終荷受人

確認番号を取得していなければ、貨物の通関は拒否される。

混載貨物の中の価額 2000 ドル未満の部分

- 少なくとも、最終荷受人は、最終荷受人の名前と住所によって確認されなければならないが、適切な最終荷受人確認番号が申告者（entry filer）によって報告されるならば、最終荷受人番号によって確認することもできる。輸入申告（entry）あるいは引取（release）の時点で、最終荷受人確認番号あるいは名前と住所で最終荷受人が確認されなければ、貨物の通関は拒否される。

ACS（Automated Commercial System）の性能上の限界により、輸入申告あるいは引取の時点で納税申告データ（Summary data）から混載貨物通関申告が証明されるときには、混載貨物の中の最高価額部分が ABI 申告に含まれなければならない。他方、当該混載貨物の残りの部分に関連する最終荷受人は、通関パッケージ（entry package）に添付されなければならない別のリストで確認されなければならない。

（４）最終荷受人確認番号報告フォーマットは以下のとおり修正される。

米国ベースの最終荷受人

- 米国ベースの最終荷受人に対する適切な最終荷受人確認番号は、IRS 雇用者証明番号（Internal Revenue Service Employer identification Number）あるいは社会保障番号（Social Security Number）のいずれかである。米国ベースの最終荷受人は、CBP が発行する番号では確認されない。
- 米国ベースの最終荷受人が IRS 雇用者証明番号、あるいは社会保障番号のいずれも持っていない場合、いずれかの番号を取得しておかなければならない。輸入申告（entry）あるいは引取（release）の時点で、適切な最終荷受人確認番号が報告されなければ、当該貨物の通関は拒否される。

外国ベースの最終荷受人

- 米国に所在しない最終荷受人に向けた輸入商品の出荷という限定的な場合に際しては、フォーマル・エントリーについて、CBP が発行する最終荷受人番号によって最終荷受人が確認されなければならない。インフォーマル・エントリーについては、価額 2000 ドル未満の混載貨物の場合を含め、CBP 発行の最終荷受人番号あるいは外国ベースの最終荷受人の名前と住所のいずれかによって、最終荷受人の確認を行なうことができる。
- CBP 発行の最終荷受人番号は、外国ベースの最終荷受人確認のためにのみ使用され、外国ベースの最終荷受人の住所と名前に基かなければならない。外国ベースの最終荷受人が、CBP 発行の最終荷受人番号を持っていない場合、通関申告を CBP が処理する時点までに同番号を取得しておかなければならない。輸入申告（entry）あるいは引取（release）の時点で、CBP 発行の適切な最終荷受人確認番号が報告されなければ、当該貨物の通関は拒否される。

以上